

### 旭川市議会議員

# 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号  
TEL.FAX.0166-32-4863

kasagi@potato.hokkai.net

お元気ですか



こんにちは。笠木かおるです。  
新しい年をご家族ご一家、お元気にお迎えのこととお慶び申し上げます。  
「かおる通信」34号をお届けします。  
早いもので2期目の議員活動も残すところ1年余となりました。今年も皆様の声にしっかり耳を傾け、任期を全力でがんばります。

旭川市議会議員  
笠木かおる

### 土木現業所に河川整備を要望しています



11月19日、旭川市の担当部とともに、北海道旭川土木現業所に  
対しポン牛別川の整備などを要望しました。

この日は、杉下政秀千代田市民委員会会長や中沢義弘豊岡4・7町  
内会長も同行。特に長年の懸案である豊岡4条7丁目～9丁目区間の  
暗渠化について整備方針をいただきました。

豊岡・千代田地区には基北川・小股川・ポン牛別川・難波川の4河  
川がありますが、愛宕新川が整備されたことから流量も減少。地域住  
民から河川整備に関する要望が寄せられています。

土現では、流下能力の現況調査を終えた段階であり、今後、旭川市  
と連携しながら河川整備基本方針を定めていくとのことです。

今後もしっかり取り組んでいきます。

### 春風鰻福 新年に想う

■北国のお正月は厳寒のせい、身も心も引き締まる思いがしま  
す。1年のうちで最も自らに厳しさを与えてくれるのは、1月のよ  
うな気がします。

■光陰矢の如し。最近、1年の歳月がとて速く感じるようになり  
ました。2年前からつけはじめた日記帳をパラパラめくると忘れて  
いたことが随分と書かれています。記憶の悪さを痛感する今日この  
頃です。

■感動と悲しみ、楽しいことと辛いことの連続のなかで月日が重ね  
られます。今年は「今日1日で一番良かったこと」を日記に書き、  
もう少し心豊かな自分になろうと思っています。

■除夜の鐘でも有名な薬師寺。先  
日、同僚議員と訪ねる機会をいた  
だき、回廊復興事業に瓦を奉納さ  
せていただきました。様々な想い  
をこめ「道」と記しました。薬師  
寺は今から1300余年前の天武  
天皇時代に発願したお寺で歴史の  
重みをひひしと感じました。

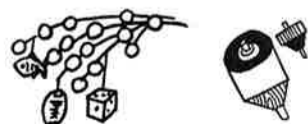


■旭川に屯田兵が入植したのは明  
治25年。ひぐまが吠え、大木の  
茂みで太陽も見えなかったこの大  
地。鋸が入り、本格的な開拓が始まって、旭川はまだ110余年で  
す。これほどの短期間でここまで成長を遂げた地域は、世界でも例  
がないと思います。そう考えると、旭川の可能性も夢も大きく広が  
ります。

■私も開拓3世らしく、先人に学びもう少し野心的に、もう少しフ  
ロンティア精神をもった生き方をと、念じています。

■「勝ち組み、負け組み」の2極化を避けるのが政治だと強く思  
います。しかし、政治経済がそうである以上、「負け犬の遠吠え」に  
ならぬようみんなで切磋琢磨する成(いぬ)年にしたいものです。

■皆様にとって、幸多き年でありますように。



2006年戌年 元旦



### 第4小閉校へ。跡利用の要望受けました

明治33年に開校以来、105年の歴史を積み重  
ねてきた第4小学校(東旭川豊田)が児童数の減少  
から今年3月をもって閉校することになりました。

9名の児童はスクールバスで第5小学校に通うこ  
とになります。

このほど、地域の皆様から校舎の跡利用について  
要望を受けました。市ではまだ利用方法を決定して  
いませんが、使用しない期間が続けば建物の傷みが激しくなることか  
ら、早急に決定しなくてはなりません。

早いうちに活用内容が決まるよう対応していきます。



### 森林・林業の役割を考えました



10月31日、市農政部の案内で市有林の  
状況を視察しました。

京都議定書の二酸化炭素6%削減のうち、  
森林による吸収は3.9%が目標です。  
国に頼りすぎず、自分達の住む地域で酸素  
を作るために何が出来るのかを考えさせら  
れたひとときでした。

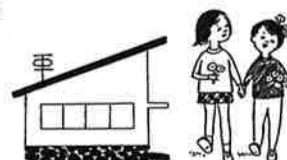
### 愛宕富士住民会館の有効活用を

愛宕富士住民会館は、愛宕地区の12町内  
会で運営されており、地域の貴重な会館です。

同運営委員会では現在、今後の会館運営に  
ついて検討をすすめており、相談をうけてい  
ます。

市としては、住民センターや地区センター  
の整備は終わっており、地区公民館の拡張計画  
もないのが現状です。それだけに、地域のより所として維持存続させ  
たいものです。

旭川市の「子育て支援」や「高齢者福祉」の政策課題から、愛宕富  
士住民会館の有効活用を図ることができないか等、同運営委員会と連  
携しながら、旭川市と協議を強めています。



(近況報告) 孫達と暮らすようになり、2度目  
のお正月を迎えました。今年4月には「婿殿」  
圭太君と亜以の間に2子目の男児誕生予定で、  
孫・太志君は早くもお兄ちゃん。  
にぎやかな年となりそうです。

### 第4回定例市議会を振り返る

第4回定例市議会は12月1日に開会し、15日までの会期で開かれました。

以下、今回決定した事項について振り返ります。

#### 第7次旭川市総合計画を決定する



平成18年度から向こう10年間の街づくり指針となる第7次旭川市総合計画が決定しました。目指す都市像は、「人が輝く 北の文化のかおるまち」です。それをもとに、4つの基本目標、11の重点目標も策定されました。

旭川市の人口については35万に減少、高齢者人口が30%、年少人口が11%になると推計、さらに少子高齢化が進むなかでの街づくりとなります。

また、「市民との協働」を強く打ち出し、「市役所まかせ」の街づくりから「市民主体」の街づくりへと改革されていくこととなります。

#### 使用料、手数料の見直しが決まる

各センターの使用料や住民票交付の手数料などが4月から一斉に値上がりすることになりました。市民負担増の総額は約1億8千万円です。



「受益と負担の適正化」が見直しの根拠ですが、厳しい市財政の健全化計画の一環です。

市民に新たな負担を求める以上、今までに増して「無駄な事業の見直し」と市役所組織のスリム化を図らなければなりません。

#### 旭山動物園チンパンジー館の建設開始

大人気の旭山動物園。7月の開設をめざしてチンパンジー館の建設が議会承認されました。事業費は約4億4千万円。

また、本年は北門に旭川振興公社の運営によるレストランなども整備されます。



#### つつじ学園を北海道療育園に運営委託

懸案であったつつじ学園の運営を、4月から北海道療育園に委託することが正式に決まりました。

まずは、入所者の生活環境改善などがすすむ予定です。

### 空港の国際化で旭川経済の活性化を

旭川空港を視察し、斉藤空港管理事務所長から国際化に向けた課題を聞き取りました。

いま、旭川空港の国際化をめざし、行政や経済界が一体となって取り組みをすすめています。

今年度の国際チャーター便数は500便に達する予定です。韓国やサハリンは旭川空港の開港を希望しており、国や北海道の協力で一気に国際空港化が可能となってきました。

開港されれば、税関・出入国管理・検疫体制が整い、観光客をはじめとした「人」や「物」の流れが大きく飛躍する可能性があります。

旭川空港国際化による経済の活性化は図り知れないものを潜めており、今年、旭川市の大きな課題です。



大きなご支援に心から感謝します。たゆまぬ努力、全力で働きます。



### 市政相談室を開設しています

笠木かおる市政相談室を自宅で開設しています。暮らしのなかでお気づきの点や不便を感じていることをお気軽にご相談ください。

電話 32-4863番

#### 最近の地域からの相談(抜粋)

- 下3号線(豊岡・東光8丁目)の街路灯整備について
- 就職相談
- 豊岡4条6丁目市道昇格道路の舗装について
- 基北川の土手整備について
- 第1小学校の存続について
- 豊進町内会の側溝・舗装整備について
- 全日本パークゴルフ選手権大会補助金申請について
- 東旭川北2条5丁目道路補修について
- 豊岡4条7丁目道路補修について
- 東部老人福祉センターのカラオケCD増備について
- 市営墓地の使用許可について
- 東光公園の柵整備について
- 豊岡9・10条6丁目道路補修について
- 道立旭川商業高等学校隣接の市有地活用について
- 生活保護申請について
- 新築に伴う街路樹の移動について
- きつねの駆除について
- 用排水路整備について(東旭川北2丁目)
- 高齢者一人暮らし住宅の除雪について
- 第4小学校閉校後の活用について
- 高齢者福祉施設入所について
- 愛宕富士会館の有効活用について
- 中山間地直接支払い対象地域指定について(東旭川米飯地区)
- 第5小学校・桜岡中学校の旧教員住宅解体について



### 道路整備が除々にすすんでいます



豊岡4条6丁目市道昇格道路など、相談いただいた道路整備が除々にすすみました。土木予算が大幅に削減しており遅れる箇所もありますが「生活道路優先」で努力していきます。

### 「冬期雇用援護制度」の存続を

冬場に仕事が切れる「季節労働者」は旭川市内で1万人を超えています。国の「冬期雇用援護制度」は、季節労働者や事業主にとって「命づな」となっています。



国は、この制度を18年度限りで廃止する方針で、冬期間仕事につけない人々の不安が大きく広がっています。

制度の存続にむけて道民ぐるみでがんばりたいものです。

先日、特別養護老人ホーム「共生園」で入所者によるカレーライスづくりがありました。皆さんの包丁さばきは素晴らしく、いつもより表情もよく、炊事や洗濯を必要としない生活が果して幸せなのか、深く考えさせられる場面でした。

「至れり尽くせり」は、時として「行き過ぎ」になることがあります。

高齢者の皆様の「参加」こそが、「小さな幸せ」につながると思います。

